

大木町立大木中学校

を記載します

学校だより

平成 31 年度 第1号(4月)

文責 校長 庄司保浩

が担任の先生の呼名に は百六十一名で、 した。 のご臨席のもと、平成 来賓、 元気よく返事し、 31年度入学式を行いま 保護者の皆さま 今年度の新入生 全員

4月10日、多くのご

平成 31 度入学式

す。 あって、

校生活への意欲が伺え 以下に新入生代表で 中学



ある川村あおいさんの 「誓いの言葉」の内容

1年2組

生になることを、ここに誓います。

そして、大木中学校の生徒として立派な中学

1年1組

私たち新入生は、何ごともあきらめず挑戦し、

す。

ら友達と助け合って中学校生活を送ろうと思いま ありますが、先生方、先輩方に少しずつ教わりなが

中学校生活がどのようなものなのか少し不安も

私たちはたくさんの希望であふれていま

毎日努力します

家族や地域の方々への感謝の気持ちを忘れずに、 つ一つを大切に行動し、いつも支えてくれている

校長

い友達、小学校ではな 活が始まります。 新し かもが新しい中学校生

験することがいろいろ ど、これから新しく体 かった教科、部活動な

学習室

終えて、これから何も 六年間の小学校生活を りがとうございました。

1年4組

式を行っていただきあ

ような素晴らしい入学 賓の皆様、本日はこの



ともに、私たち百六十

心地よい春の訪れと

誓

0 言

葉

名は、この大木中学

式

職員

校へ入学しました。

先生方、先輩方、来

平成31年度

1 /2001 1 /	2 19/92	
庄司 保浩	相談員	石橋 守久
甲斐 裕次	支援員	馬場 妙子
宮崎 貴大	支援員	板橋 みどり
川野 小百合	校務員	牧 憲和
田原 直宏	校務員	服部 順一
吉田 寛	スクールカウンセラー	西山 美萌
村田 優子	ALT	アンドリュー・クワルサワー

教 頭				
	甲斐 裕次	支援員	馬場 妙子	
事務主事 図書司書		宮崎 貴大	支援員	板橋 みどり
		川野 小百合	校務員	牧 憲和
講師(社会)		田原 直宏	校務員	服部 順一
講師(理科)		吉田 寛	スクールカウンセラー	西山 美萌
講師(保健体育)		村田 優子	ALT	アンドリュー・クワルサワー
1学年所属	1組 (学年主任)	井上 百合恵	家庭科・バスケットフ	ドール(男)部
	2組	光延 秀樹	音楽科: 吹奏楽部	
	3組	松﨑 彰子	国語科·卓球(男女)部	
	4組	江頭 聖晶	理科・バドミントン(男)部	
	副担任	堤 信二	数学科·卓球(男)部	
	副担任	松永 知子	英語科・ソフトテニス(女)部	
	副担任 (主幹教諭)	田中 憲昭	保健体育科・サッカー部	
	学習室1組	岩崎 順一	ソフトテニス (男)部	
2	1組	今別府 良	社会科・サッカー部	
	2組	西 香緒里	英語科・バレーボール(女)部	
	3組	待鳥 恵美	国語科・ソフトテニス(女)部	
学	4組	桑田 康平	理科·剣道部	
年所	副担任 (学年主任)	古賀 麻美	美術科·美術部	
属	副担任	田中 公江	数学科・バドミントン(男女)部	
	副担任	井上 泰之	保健体育科・バレーボール(男)部	
	学習室2組	中野 善隆	バレーボー(男)部	
⇔学年所属	1組 (学年主任)	大塚 加奈子	英語科・バレーボール(女)部	
	2組	田中 竜児	技術科・ソフトボール部	
	3組	村上 達	数学科・バスケットボール(女)部	
	4組	田中 理	国語科・バドミントン(女)部	
	副担任	新谷 照男	理科・ソフトテニス (男)部	
	副担任	冨安 英樹	保健体育科·軟式野球部	
	副担任	宗我 賢太郎	社会科・バスケットボール(男)部	

卓球(女)部 ※ 水泳部· 陸上部 甲斐教頭

中を大きな「輪」に見立て、

誰一人として欠

す。だからこそ、このスローガンには、大木 合って取り組むことが大切だと考えていま ではなく、生徒全員で手を取り合い、

協力し

対面式(生徒会入会式)

た。

新入生全員の大きな成長を期待します。

がんばっていこうとする意欲あふれる誓いでし

中学校生活への大きな期待を感じさせ、三年間

4月11日に、 を行いました。目的は、 生徒会主催の対面式(生徒会入会 「全校生徒が一同に会

> することで、新入生に中学校のスター る」ためのものです 感させ、

めの準備期間です。生徒会活動を通して集団 参画していくことになります。 からは、大木中学校の生徒会員として、委員会 活動や生徒会行事、学校行事などに主体的に 中学校の三年間というのは、

支え合う心」、「お互いに 力し合う心」「お互いに 割を自覚し、 を育んで欲しいと願って 信頼し合う心」、そして すことで、「お互いに協 お互いを思いやる心」 責任を果た



一員としての自分の役

生徒会の一員としての自覚をもたせ

年生は、児童から生徒になりました。これ 大人になるた

りよい学校 います。 言えると思 同じことが 校生活にも 立ちません。 として成り これは、学 ょ

を築き上げるためには、 てしまって 部が欠け は 部の人が頑張るの

は、「輪」

大木中学校生徒会~

輪

輪

〜生徒全員で築き上げる

かけ、 大木中生徒会を築き上げていきましょう。 悩んでいる人や困っている人に積極的に声を 心に生徒全員で手をとり合って、 -の輪、そして学校の輪を広げ、素晴らし つながり(輪)を意識して、クラスの輪、学 学校生活や各行事において、 手をさしのべる。こんな風に人と人と IJ | 協力する、

德永

千夏

う思いを込めました

き上げ、生徒全員がひとつ(輪)になる、 けることなく生徒全員で、よりよい学校を築

養護教諭

生徒会執行部

生徒会スローガン決定

今年の生徒会スローガンは